上田西部地域協議会だより

平成 26 年 2 月 1 日発行
（第 3 号）

発行元：上田西部地域協議会
（事務局）市民参加・協働推進課
電話 22-4100　内線 1352

第四期上田西部地域協議会の活動内容と委員の紹介

西部地域協議会の様子

地域協議会が発足して８年が経とうとしております。地域協議会は、市の附属機関として市内の９地域に設置され、地域住民等の意見や要望を集約して行政に反映させ、地域の重要事項の決定に意見を述べ、住民と行政との協働により、地域の個性や特性が生かされ地域力が発揮されるまちづくりの推進を図るために設けられたものです。

今回の地域協議会だよりでは、地域協議会の活動内容についてご紹介をさせていただきます 。

地域協議会の任務の一つとして、「対象地区に係る住民自治の推進や住民と行政との協働によるまちづくりについて調査研究を行うものとする。」と条例に規定されており、西部地域協議会では、「子育てと高齢者」、「地域の安全・安心」、「地域遺産の保全と活用」の３つの分科会と「地域内分権」の特別分科会を設け調査研究を進めており、様々な形で成果を上げつつあります。

◎各委員の分科会所属状況（敬称略）

湯田勝己	山崎順子	松本義之	○増田由喜子	布施教子	藤原信一	藤作敏一	廣田泰年	原有紀	長谷山則子	竹内浩之	◎関俊雄	塩野﨑利英	佐藤裕	佐藤修一	斉藤洋	小宮山涼子	小宮山アサジ	小林公子	腰原一文
C	B	B	A D	A	A D	A	C D	A D	A	B	C D	B D	C	C	B	A	A	A	B D

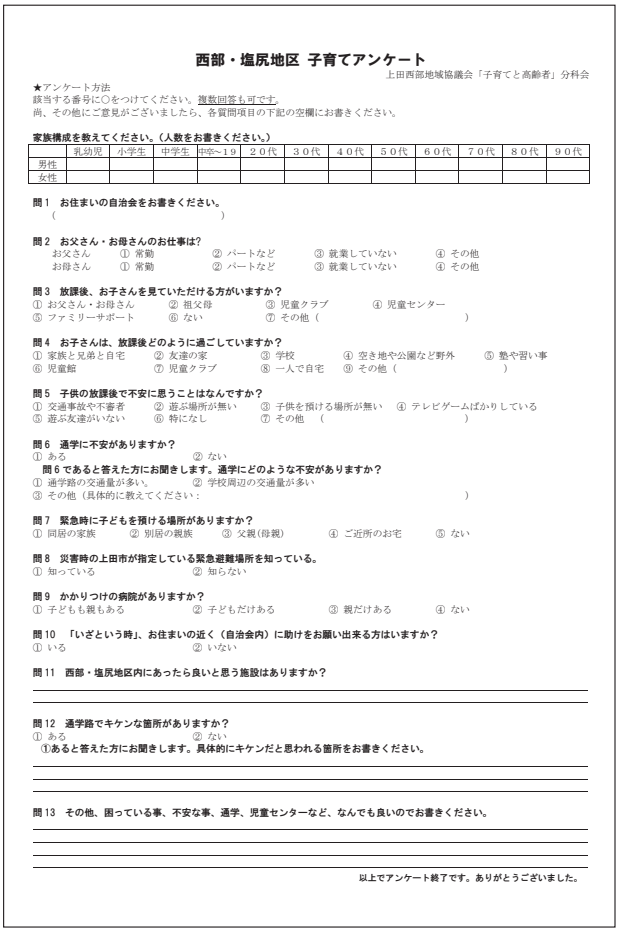
「子育てと高齢者」分科会⇒A、「地域の安全・安心」分科会⇒B、「地域遺産の保全と活用」⇒C、「地域内分権」特別分科会⇒D
◎は西部地域協議会会長、○は西部地域協議会副会長

「子育てと高齢者」分科会の活動について

「子育てと高齢者」分科会では、「子育てがしやすく、また高齢者も障がい者も安心して暮らせるやさしいまちづくり」をテーマに掲げ､そのためにどうしたらよいかを検討しています。

「子育て」については、西小学校、塩尻小学校の保護者にご協力をいただき、放課後や通学などに関する実態アンケート（子育てアンケート）を実施しました。結果については、ご協力いただきました各学校、保護者へのご報告とともに、市政へ生かされるよう検討いたします。

また、「高齢者」については、高齢者問題の実態を良く知



西部・塩尻地区 子育てアンケート

上田西部地域協議会「子育てと高齢者」分科会

★アンケート方法
該当する番号に○をつけてください。複数回答も可です。
尚、その他にご意見がございましたら、各質問項目の下記の空欄にお書きください。

家族構成を教えてください。（人数をお書きください。）

	乳幼児	小学生	中学生	中卒～19	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代
男性												
女性												

問１　お住まいの自治会をお書きください。
（　　）

問２　お父さん・お母さんのお仕事は?
お父さん　① 常勤　② パートなど　③ 就業していない　④ その他
お母さん　① 常勤　② パートなど　③ 就業していない　④ その他

問３　放課後、お子さんを見ていただける方がいますか?
① お父さん・お母さん　② 祖父母　③ 児童クラブ　④ 児童センター
⑤ ファミリーサポート　⑥ ない　⑦ その他（　　）

問４　お子さんは、放課後どのように過ごしていますか?
① 家族と兄弟と自宅　② 友達の家　③ 学校　④ 空き地や公園など野外　⑤ 塾や習い事
⑥ 児童館　⑦ 児童クラブ　⑧ 一人で自宅　⑨ その他（　　）

問５　子供の放課後で不安に思うことはなんですか?
① 交通事故や不審者　② 遊ぶ場所が無い　③ 子供を預ける場所が無い　④ テレビゲームばかりしている
⑤ 遊ぶ友達がいない　⑥ 特になし　⑦ その他（　　）

問６　通学に不安がありますか?
① ある　② ない
問６であると答えた方にお聞きします。通学にどのような不安がありますか?
① 通学路の交通量が多い。　② 学校周辺の交通量が多い
③ その他（具体的に教えてください：　　）

問７　緊急時に子どもを預ける場所がありますか?
① 同居の家族　② 別居の親族　③ 父親（母親）　④ ご近所のお宅　⑤ ない

問８　災害時の上田市が指定している緊急避難場所を知っている。
① 知っている　② 知らない

問９　かかりつけの病院がありますか?
① 子どもも親もある　② 子どもだけある　③ 親だけある　④ ない

問１０　「いざという時」、お住まいの近く（自治会内）に助けをお願い出来る方はいますか?
① いる　② いない

問１１　西部・塩尻地区内にあったら良いと思う施設はありますか?

問１２　通学路でキケンな箇所がありますか?
① ある　② ない
①あると答えた方にお聞きします。具体的にキケンだと思われる箇所をお書きください。

問１３　その他、困っている事、不安な事、通学、児童センターなど、なんでも良いのでお書きください。

以上でアンケート終了です。ありがとうございました。

子育てアンケート

る必要があり、特に掃除、洗濯、食事、外出、健康、防災、話し相手等の諸問題について、地域の人々はどう考え、困っていることはないだろうかを知るために、地域でのアンケート調査をしてはどうかという意見が多く出され検討しましたが、配布・回収方法に問題があり断念しました。

しかし、西部地域包括支援センターから担当者を派遣してもらい、この地区の介護高齢者の実態や悩みなどをお聞きし、地域の状況がわかってきました。

また、西部・塩尻地域の病院、薬局、金融機関、食料品店などの位置を調査し、場所によっては高齢者にとって不便であることが判明しました。　【藤原信一・原　有紀】

◎「子育てと高齢者」分科会の高齢者総合福祉施設視察研修報告

「子育てと高齢者」分科会で昨年 10 月 7 日に､「アザレアンさなだ」を見学しました。

「アザレアンさなだ」での全体説明

最初は特別養護老人ホームで、ここは長期入所、短期入所 (ショートステイ) デイサービスを受け入れる介護サービス施設でした。次は「下原グループホーム」で 1 軒の家で 6 人が家庭的な雰囲気を大切に、認知症のお年寄りがゆっくりと過ごせることを目的としている施設です。毎日の生活の中で 1 人 1 人の能力に応じ協力し合って暮らしておりました。

「いこいの郷」「サロン大庭」では、近所に住むお年寄りが気軽に立ち寄って、お茶飲みする場所で、空き家を利用して運営されています。

「大畑サテライト」は、全室個室で家族や面会の方々とゆっくり過ごすことが出来て、各室には専用の玄関もあるサテライト型居住施設で少人数の利用者を 1 つの生活単位として考え、家庭的な雰囲気の中で食事や入浴など日常生活の介護、健康管理が行われていました。

大畑サテライト

わずか 2 時間の見学であり、施設のほんの一部を訪れただけですが、「アザレアンさなだ」がモットーとしている「人として幸せに、安心して生きる日々を大切に」を目ざす経営内容が実践されており素晴らしい施設でした。これ等の施設で過ごしている高齢者の皆さんは幸せだと感じ、すみずみまで心配りがされているアザレアンのサービス事業に頭の下がる思いでした。　【小林公子】

「地域の安全・安心」分科会の活動について

「地域の安全･安心」分科会では「地域防災と防犯、交通対策による安全安心なまちづくり」をテーマとして調査･研究を行ってきました。

多岐に亘るテーマのため、まずは、地域の防災について協議を始めました。危機管理防災課の職員からお話しをお聞きし、現状の上田市の防災体制、西部・塩尻地区の実情について状況を聞く中で、城下地区において地域住民により避難場所運営マニュアルが作成中であることをお聞きし、西部・塩尻地区でも作れないか検討してまいりました。

細部については、手直しが必要となりますが、西部・塩尻地区避難場所運営マニュアル（案）を作りあげ、地域の自治会長さんにお示しすることができました。

今後は、災害が発生したときに「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚、連帯感を持てるよう、自治会と検討を行う中で、地域の自主防災組織の有り方について考えていきたいと思います。　【松本義之】

◎「地域の安全・安心」分科会の防災視察研修報告

震災当時の山古志地域木籠集落
（郷見庵内に展示されている写真）

「地域の安全・安心」分科会で昨年 10 月 1 日に、平成 16 年 10 月 23 日に中越地震に見舞われた新潟県長岡市山古志地区と小千谷市に防災視察に行ってきました。

山古志支所で地域ボランティアの方に同行していただき、「木籠メモリアルパーク」を視察、ここは、地震によって崩れた土砂で川がせき止められ集落が完全に水没してしまった地域です。震災した当時の状況をそのまま残してあり、住民の方が生活していた場所が一瞬にして奪われてしまったことが非常に生々しく伝わってきて胸が締め付けられる思いでした。この場所をメモリアルパークとして残しているのは、震災の傷跡を保存し忘れてはならない痛みを伝承していくためであり、震災があったけれどもその中で自分たちには出来ることがある、という事を伝えていくためだとお話し下さいました。

次に小千谷市にある、「おぢや震災ミュージアムそなえ館」に向かいました。ここは、防災学習体験プログラムや、中越地震発生から時間を追った小千谷市の様子の展示スペースで『震災へのそなえ』を学べる場所でした。

また、地元語り部の方の防災講座をお聞きし、「予期せぬ出来事は突然に」やってくるので「大災害に強い地域づくり」が必要とお聞きし、そのために地域防災力を強化すること、それには、地域に即した「ものづくり」「しくみづくり」「ひとづくり」が重要であるという、とても参考になるお話でした。

地震動シミュレータ：中越大震災の実際の波形を再現。震度７の強烈な横揺れを体験

災害はどこか遠い所で起こるもの、という感覚は捨て「この次は今まで大きな災害が起こらなかったこの上田かもしれない・・」という意識を持つことが今後の防災活動に取り組む際大切になるのではないかと思いました。

災害を悲劇だけで終わらせるのではなく、次の世代への警鐘として伝えていっている山古志・小千谷の皆さんの力強い生命力、そして、そこから自分たちが何を学んで、どう活かしていけば良いのか・・とても有意義な視察でした。　【山崎順子】

「地域遺産の保全と活用」分科会の活動について

「地域遺産の保全と活用」分科会では、過去に蚕室作り家屋の保存の訴え、地域内の文化遺産の紹介等をしてきました。四期目の地域協議会では律令東山道「曰理駅」（わたりのうまや）の存在に着目し、なんとか西部地域の皆さんに広く知ってもらい、北国街道を中心としたまちおこしに一石を投じたいと考えました。

塔心礎と推定される巨石に置かれた石の祠（イボ神様）

古舟橋の袂の段丘上に、地元ではイボ（エボ）神様として知られていた小さな石の祠が、大きな石の上に乗っています。この大きな石の中央部には、37 ～ 8cm 程の丸い穴が開いており雨水が溜まっております。地元の古老の話では、この水をイボにつけると治るのだという言伝えがあり、子供の頃はよくこの周りで遊んだとのことでした。

郷土史研究の方々の間では、この大きな石に注目が集まっておりました。お寺の塔の心柱（しんばしら）を支える礎石ではないか、更に、瓦塔片なるものも発見されて、律令東山道が千曲川を上田で渡り、渡った場所に「曰

上田市常磐城の「曰理駅」推定地

理駅」があったことは古文書からわかっていましたが、その場所ではないかと有力視されてきました。これについては、上田市誌、信濃国分寺資料館の展示等からも見ることが出来ますが、地域の人々にはあまり知られていないのが現状です。

地域に誇れる歴史遺産であるということから、イボ神様の近くに標柱でも建てて地域の方々に広く知ってもらうことは出来ないかと模索する中で、イボ神様のある土地が私有地ということもあり地元諏訪部の方々にも参加を願い「保存会」を作り、上田市の「わがまち魅力アップ応援事業」で実施することになりました。

西部地域に新しい話題ができ、歴男歴女の皆さんが三々五々訪れ、今から 1000 年以上前のこの地方の様子や、日本の国の成り立ちなどに思いを馳せることができればと期待しております。　【関　俊雄】

「地域内分権」特別分科会の活動について

上田市は「地域の個性や特性が生かされ、地域力が発揮されるまちづくり」を目標に、地域内分権を進めようとしております。この目標を達成するために、住民自治組織を平成 32 年度までに立ち上げようとしており、西部地域協議会では特別分科会をつくり、この問題について検討を行っています。

昨年 9 月 27 日には地域内分権の先進的な取組み事例について学ぶため、飯田市の鼎地区を訪れました。

飯田市鼎地域振興センターで担当者からの説明

飯田市の地域自治組織は、公民館を単位として「まちづくり委員会」を組織化し、地域にある各団体の再編成を行い、生活安全・青少年健全育成、健康福祉、環境衛生、公民館・教育文化等の委員会をつくり、これ等を統括する執行部を置いて活動しています。

地域に根ざしたものにするにはどうするか、少子高齢化が進み自治会役員のなり手が見つからない地域の現状を踏まえ、住みやすい生き生きとした地域づくりに役立つ、スッキリした上田スタイルの地域自治組織が確立されればと思っております。

分科会の意見をもとに全体会でも検討を行い、更に次年度は、地域協議会外の方々も含めた検討委員会で議論をできればと思っております。地域の皆さんの納得のいく組織にするには、全体像と、詰めるべき内容も多いのですが、じっくり議論を重ね、多くの皆さんが納得のいくものにしたいと考えております。　【関　俊雄】

◇皆さんのご意見を募集します。

今回発行した地域協議会だよりについてのご意見、ご感想を募集します。また、地域課題や地域協議会に対するご意見をお聞かせください。

いただいたご意見は、地域協議会の中で地域の声として協議・検討してまいりたいと考えています。

任意の用紙にご意見、ご感想を記入の上、直接または郵送か FAX で西部公民館、市民参加･協働推進課へ提出願います。

○お問い合わせ先

・西部公民館　【〒 386-0027 上田市常磐城 5-1-44　電話 27-7544　FAX 27-7522】

・市役所市民参加・協働推進課　【〒 386-8601 上田市大手 1-11-16　電話 22-4100 内線 1352　FAX 22-4130】